

令和5年度 下広川小学校 教務運営構想

【学校教育目標】

夢や希望をもち、知・徳・体の調和のとれた子供の育成

【教育課題】

- ・主体的な学習態度の育成
- ・学力の差（学級・学年差及び個人差）の解消
- ・指示待ちの姿勢の改善

【経営課題】

- ・学級経営力の向上（学級づくりの力の向上）
- ・授業力の向上（教育課程経営力の向上）
- ・支援を要する児童への適切な支援

【重点目標】

自ら考え、つながりあう子供の育成

【経営の重点】

授業力・学級経営力の向上と学校経営参画意識の高揚

【教務運営の基本方針】

- ・授業力の向上…学習の「ねらい」の達成を目指す教材研究（分かる授業・楽しい授業）
- ・学級経営力の向上…学級内の豊かな人間関係を構築するための年間を見通した学級経営
- ・3推進部の統括…起案・提言・評価によるマネジメントサイクルの機能化

組織運営に関すること

◇各推進部の機能化

- 三推進部（知・徳・体）の統括

- ・マネジメントサイクルの機能化

【P：計画】

- ・戦略マップ・シートの活用

【D：実施】

- ・起案・提言の実施

- ・OJTの機能化

【C：評価】

- ・取組評価と結果評価

- ・学校自己評価への反映

【A：改善】

- ・次年度の計画策定

◇カリキュラム・マネジメント研修の企画・運営

- ・授業を計画、実施、評価、改善する力を育成
- ・同学年・近接学年での協働（メンタリングの導入）
- ・「2週間週案簿」の作成と、見直しを持った指導
- ・重点項目を週案に明記

◇学級経営力の向上

- ・学級経営案の作成と学期末評価と改善
- ・教室訪問の実施
- ・配慮を要する児童の課題や変容の把握と指導・助言

◇地域に開かれた学校づくり

- 学校運営協議会との連携
- ・学校自己評価との連動
- PTAとの連携
- ・教頭の補佐として
- 外部（専門機関）との連携
- ・幼保との連携
- ・地域人材の活用
- 地域連携推進会議との連携
- ・安全・安心作戦会議

教育活動に関すること

◇学力向上に向けた教育課程の編成

【指導内容の選択】

→内容の重点化

- ・国語科…「書く」「読む」
- ・算数科…「図形」「データの活用」
- ・道徳科…「善悪の判断、自律、自由の責任」「希望と勇気、努力と強い意志」「親切、思いやり」

- ・体育科…「瞬発系」「筋持久系」に関する内容

【指導内容の組織】

- ・各教科、道徳科、総合的な学習との関連（ICT活用）
- ・タブレットを活用した家庭学習
- ・道徳科や学級活動との関連を図る
- ・共感的人間関係づくり（つながりあう）

【授業時数の配当】

- ・国語科、算数科の重点領域に5時間（1から4年）配当する
- ・図書館での読書活動を低学年15時間、中学年5時間配当

◇校内研修の充実

- 学力向上プランの活用

- 主題研の推進

- ・下広小の約束

- ICT教育の推進

- ・タブレットの活用促進

◇豊かな心の推進

- 人権・同和教育の充実

- 道徳教育の充実

- 生徒指導の充実

- ・児童の実態や状況の把握
- いじめ不登校・特別支援教育推進会議の統括

◇健やかな体の育成

- 体力向上プランの活用

- ・「1校1取組」の実践

- ・下広オリンピック

- ・持久走大会、縄跳び大会の実施

- 体育サポーターとの連携

- ・週案との連動

- ・本部との連携強化

教育環境に関すること

◇校内環境の整備

- 教室環境の整備
- ・教室環境（モデル）提示
- 共有部分の整備
- ・花壇、学級園の整備

◇教育課程の管理

- 教務管理システムによる「2週間週案簿」の活用
- ・月別時数集計
- ・学期別時数の集計
- ・年間指導計画と照らした進捗のチェック
- ・年間指導計画の工夫改善

◇組織的・協働的な人的環境

- ・複数による習熟度別学習
- ・複数によるスキルタイムの実施
- ・外部講師（ICT サポーター Web スポーツ等）との連絡調整

◇家庭・地域との連携

- 基本的な生活習慣づくり
- ・望ましい生活習慣の育成
- 地域の教育資源の活用
- ・地域人材との連絡調整

◇危機管理体制の確立

- 新型コロナウイルスへの対応
- ・非常事態に備えた、柔軟なカリキュラム運用
- ・学校行事の精選
- スタートカリキュラムの改善
- ・「小1プロブレム」解消に向けた、学校適応の促進
- 危機管理マニュアルの策定
- ・研修における周知・徹底
- ・指導計画への反映
- ・薬物乱用防止教室の実施
- ・情報モラルの確立